

第 45 回兵庫県医療審議会保健医療計画部会 議事概要

- 日 時：令和 5 年 12 月 21 日 15：00～16：30
- 場 所：兵庫県医師会館 2 階大会議室
- 出席委員：飯島 一誠 （兵庫県周産期医療協議会会長）
臼井 里佳 （兵庫県愛育連合会会長）
大村 武久 （兵庫県病院協会会長）
多田 雅史 （全国健康保険協会兵庫支部支部長）
太城 力良 （兵庫医科大学理事長）
丸山 美津子 （兵庫県看護協会会長）
橋本 創 （兵庫県民間病院協会副会長）
登里 倭江 （兵庫県いずみ会会長）
橋本 加代 （兵庫県栄養士会会長）
橋本 寛 （兵庫県医師会副会長）
内海 浩彦 （兵庫県精神科病院協会理事）

- 欠席委員：笠井 秀一 （兵庫県薬剤師会会長）
橋本 芳紀 （兵庫県歯科医師会会長）
島 正之 （兵庫医科大学教授）
中村 文代 （兵庫県消費者団体連絡協議会会長）
浜上 勇人 （兵庫県町村会）
眞庭 謙昌 （神戸大学医学部附属病院院長）

●次 第

1 開会

2 保健医療部長挨拶

3 議事と結果

（1）議決事項

①第 8 次兵庫県保健医療計画改訂について

令和 6 年 4 月の次期改定に向けた計画案、スケジュール等が説明され、修正等の意見については当日いただいたものも含め、別途反映することとした。

②令和5年度病床機能転換推進事業及び病床機能再編支援事業について資料により事業概要や申請状況等が説明され、全会一致で承認を得た。

(2) 報告事項

①医療介護推進基金事業（医療分）の事後評価について資料により事業実施結果や目標の達成状況及びその評価について報告された。

4 議決事項についての主なやりとり

○議決事項 (1) - ①

委員：基準病床数が増えたことにより、急性期病床を増やすことはできるのか。地域の病院にとっては、非常にセンシティブな問題であると考えている。

事務局：今後、地域医療構想との整合性を考えた際、急性期病床を増やすことはなかなか難しいと考えている。その方針を決めるべく検討を進めているところ。

委員：加えて、阪神圏域内南北地域間の病床の移動に関しては、保健医療計画に書かれていないが、それは圏域の調整会議に委ねられているということか。

事務局：それは阪神圏域の調整会議の方で検討していく。保健医療計画の中では、阪神は1つの圏域になっているため、調整会議の中での議論の取りまとめやルールなどの細かな部分について、圏域の調整会議と事務局の健康福祉事務所と意見を合わせながら考えていくべき事項であると考えている。

委員：急性期病床を増やすことはなかなか増やすのは難しいと考える。回復期病床と慢性期病床については、増床はあり得るということか。

事務局：今回大きく病床数が増えたが、地域医療構想と整合性を図らなければならぬと考えているため、増床は主に回復期にならざるを得ないと考える。

委員：救急医療について、2次救急を民間病院が担っているが、医師は病院外部から来ている。将来、特に地方では、なかなか医師の確保が難しくなると盛んに言われているが、それらの見通しはあるか。

事務局：働き方改革の中で上限規制について、連続勤務時間推定や勤務間インターバルという制度が導入されることにより、今までできていたことができなくなることはある。実際、国、大学から医師に応援として来ていただいていたが、応援医師がはまらなくなっている話があるため、実際に影響が出てくるという意見を聞いている。

○議決事項 (1) - ②

委員：再編後の日高医療センターの回復期病床である 19 床は、病院ではなく、有床診療所であるか。

事務局：はい。

委員：令和 5 年度病床機能転換推進事業及び病床機能再編支援事業について、地域住民から異議等はあるか。

事務局：ない。